



from NEW YORK from NEW YORK from NEW YORK  
**マッシー川口の**  
 from NEW YORK from NEW YORK from NEW YORK

# from New York

タダより高いモノはナイ

ハワユ~! 今月から新しい環境での生活がスタートした方々、調子はどうですか? この機会に新パソコンを買っちゃおう! なんて人も多いかもだけれど、パソコンもホントに安くなったよね。



1,000ドルを切るPCが多いなか、iMacもこちらのマックウエアハウス(www.warehouse.com)で899ドル。さらに、シアトルのMicroworks Computerでは、299ドルのPCまで登場したと聞いて驚いたけど、@@) オットこれは良く読むと、Cyrix 300MHz プロセッサ、3.2Gバイトハードディスク、16Mバイトメモリーだし、モニター、フロッピードライブ、CD-ROMドライブもなし! これじゃつらいやね、トホホ。

ところで、タダより高いモノはナイと言うけれど、「あなたの個人情報を提供してくれたら、無料で1万人にPCを提供します」というサービスがアメリカで話題を呼んでいるのは知ってるよね? 携帯電話やPHSがただに近くなったように、フリーPC時代の到来か! というわけ。

カリフォルニア州、バサディナにある電子商取引などのインターネット事業を手がけるアイディアラブ社は、世界で初めて個人情報と引き替えに消費者にただでパソコンを提供する、FreePC.com というサービス会社を世に送り出した。今年の2月から始まった会社のサービスは、(www.free-pc.com)にアクセスして、生年月日から、家族の誕生日、年収、家のローン、一日に何時間パソコンを使うか、読んでいる雑誌、それから趣味の選択など、全15問の質問に答えれば、コンパクトのプレサリオ(Cyrix 333MHz プロセッサ、4Gバイトハードディスク、32Mバイトメモリー、33.6KBps モデム、windows98)を進呈する! という画期的企画よ。さらに、プロバイダーのネットゼロ(www.netzero.com)と提携して、無料のインターネット接続サービスも付いているというから、まさに至れり尽くせりの状態ね。最初、先着1万人だったのに注文が殺到して、さすがに途中から対象者は「FreePCの広告主に対して、最も効果的なマーケティングが出来る人」って内容変更になってたね。

でもこのパソコン、4Gバイトのハードディスクといっても、2Gバイトは宣伝用のデータが入っていて、インターネットにつがってなくても広告が始終画面上をぐるぐる巡り、イヤでも広告の嵐を見ることが義務づけられているのよ。それに「ネットゼロ」で、フリーインターネットアクセス付きだけど、インターネットにアクセスするたび



## カワグチ マサヨ

ニューヨーク在住のフリージャーナリスト。テレビやラジオでニューヨークからのレポートを送っている。ほかにコナミの人気ゲーム「ときめきメモリアル」の片桐彩子役(声優)としても活躍。  
<http://members.tripod.com/~masshy/>



に、どのウェブサイトアクセスして、どの会社のプロダクトの広告を何回クリックしたかなど、ネット上でスパイに見張られるように、終始事細かに行動をモニタリングされるのだ。

ちょっとヤダね。ま、タダだから、仕方ないか.....。タダというのは怖いものでもある。

- 「そんなに簡単にプライベートな情報を企業に売ってもいいのか! 個人情報を企業に乱用されたらどうするのか!」などと、アメリカでも警告する側の声があったので、ちょっと迷ったけど、さっそく私もチャレンジ。応募した人は、最初の2日間で50万人、1か月半で180万人以上に達したと、テレビのニュースでも伝えていたわ。最初はホームページがとんでもなく混んでいて、電話もバンク状態。シリコンバレーの会社に直接来てしまう人もいたというほど大混乱だったような。

FreePC.com社では、今後さらに100万台のPCを配る計画で、現在資金集めの真っ最中。会社として採算は取れるのか? と思いきや、無料パソコンで流れる広告が売り上げに結びついたら、その分のマージンをもらうことで、このPC代(1台600ドルの価値の商品)はまかなえるとのこと。また、チケットマスターやオンラインシティーサーチ、インターネットショッピングなどの画期的な戦略で知られるUSAネットワーク社から、広告宣伝料として、1,000万ドルの(約12億円)資金ゲットに成功したのよ。なるほどと納得。私ももらえるといいなあ。古今東西人間タダには弱いものなのだ。^^)

- ほかに、ワンストップコミュニケーションズ社のように、iMacを無料で進呈するところも出てきた。こっこの条件は、この会社のオンラインショッピングモール(www.shopss.com)で3年間、毎月100ドル以上の買い物することと、同社のインターネットプロバイダーに加入することだって。どう思う? 得なのかな?

● 今や、タダメール、タダソフト、タダプロバイダー、タダパソコン、とタダ時代なのか。これから無料パソコン戦略が定着して、パソコンは「タダ」が当たり前になったりするのだろうか? 新PC時代に注目だわ。



● さあ、きょうは川口、蕎麦作りに挑戦します。アメリカのスーパーにあるBUCK WHEAT(そば粉)とFLOUR(小麦粉)で、二八蕎麦が打てるのでしょうか?

(<http://www.aizu.ne.jp/net/sobauchi/index.html>参照)  
 ● ニューヨークに住んで丸4年。毎日、ネットのレシピで和食作りに奮闘してマス。頭も身体も栄養第一! ふんじゃ、マッシー:)

Illust: Kido Satoko





## [インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

**株式会社インプレスR&D**

All-in-One INTERNET magazine 編集部

[im-info@impress.co.jp](mailto:im-info@impress.co.jp)